

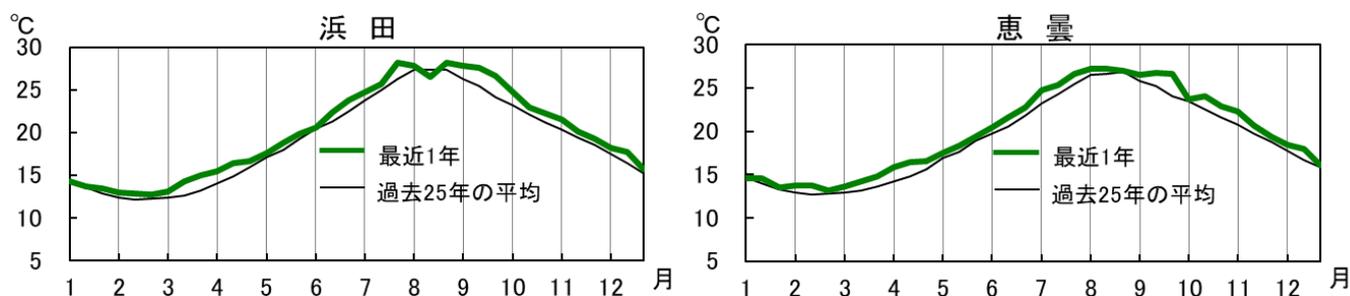


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《12月の海況》



12月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	17.1°C	+0.8	かなり高め	17.5°C	+0.7
中旬	はなはだ高め			かなり高め		
下旬	やや高め			平年並み		



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジが平年の5割でした。また、サバ類は平年の1割未満でした。隠岐地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は14.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは441トンで平年の1.8倍でしたが、ブリは317トンで平年の3割となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は33.3kgで平年の約7割でした。西郷地区(属人5トン以上)での水揚げはありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、マダイを主体の漁況で、総漁獲量は223トンでした。1統1航海当りの漁獲量は11.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍、マダイは平年の1.9倍でした。その他、マアジは平年の1.0倍、カマス類は平年の8割、アンコウ類およびマダラは平年の6割、ソウハチおよびエソ類は平年の5割、ムシガレイは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アンコウ類、マダラ主体の漁況で、総漁獲量は155トンでした。1統1航海当りの漁獲量は785kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチおよびアンコウ類は平年の5割でしたが、マダラは平年の1.5倍と好調でした。その他、キダイは平年の1.2倍、アカムツは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類およびムシガレイは平年の8割、ヒレグロは平年の7割、ヤリイカは平年の6割、ニギスは平年の5割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は17.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.4倍、サワラ類は平年の9割、マアジは平年の8割でした。石見地区ではソウダガツオ、マアジ、シイラ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は7.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウダガツオは平年の8.8倍、マアジは平年の5割、シイラは平年の1.8倍でした。隠岐地区ではソウダガツオ、マアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は2.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウダガツオは平年の5.6倍、マアジは平年の2割、ブリは平年の5割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではブリ、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は37.0kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4.0倍、クロマグロは平年の2.8倍でした。石見地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は36.7kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の2.7倍でした。隠岐地区では、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は36.2kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の2.0倍でした。

【令和5年12月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、ブリ	861トン	111%	48%	14.8トン	147%	98%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.7トン	833%	14%	33.3kg	159%	67%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、マダイ	223トン	84%	71%	11.7トン	71%	75%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アンコウ類、マダラ	155トン	123%	65%	785 kg	95%	93%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、サワラ類、マアジ	156トン	103%	90%	17.3トン	138%	117%
	石見	ソウダガツオ、マアジ、シイラ	31.1トン	106%	61%	7.8トン	106%	59%
	隠岐	ソウダガツオ、マアジ、ブリ	4.0トン	27%	35%	2.0トン	40%	53%
釣り・縄	出雲	ブリ、クロマグロ	29.6トン	235%	118%	37.0kg	127%	116%
	石見	クロマグロ	25.8トン	362%	103%	36.7kg	198%	141%
	隠岐	クロマグロ	21.1トン	226%	109%	36.2kg	131%	115%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ